

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・携帯電話の新機種投入により、客の購買意欲が高まった。また、新機種の発売により旧機種の値下げが行われ、値下がり待ちの客が多数購入した。
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・コート、ブーツ、マフラーなど冬物商材の動きが非常に活発になってきた。特に流行の先端をいくトレンド志向の高い商品が目立ち、色目もベーシックなものから派手めに変化している。従来見られた着回しの利く商品に代わり、今年らしさを表現したいという商品の動きが顕著である。
				衣料品専門店（経営者）
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・レストラン、一般宴会の客単価上昇に加え、利用客数の増加もあり、大幅増収を見込んでいる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・初旬に駅周辺で北陸最大級の複合商業施設がオープンし、タクシーの利用が多かった。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・先月末から今月にかけて、携帯電話の販売は大盛況で、来客数はいつもの2倍以上となっている。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・競合店のオープンなどで非常に苦戦しているが、新商材の導入により3か月前や前年同月の売上を維持している。
				一般小売店〔鮮魚〕（従業員）
		一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	お客様の様子	・例年であれば、12月決算の企業が設備投資や備品購入を図る時期であるが、今年はほとんど見られない。ただし、名入れ商品や日記などは例年どおり受注した。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・コート類は月末近くによりやく動き出した。ミセスではダウン（羽毛）系の日常的な商品、ヤングではウール系のファッション誌のおしゃれを意識した商品が中心で、両者に素材の違いが見られる。丈は80センチ前後が多く、今年は売れ始めからややロング系のコートが主流となっている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・食品や日用品など必要とされる商品は前年と同じように推移している。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・半年に1回の会員特別招待会では集客の効果が見られたが、月間トータルでは来客数が前年の98%、客単価が同102%という結果になった。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ボージョレーヌーボーの売行きは年々悪くなっているが、今年は特に悪かった。
コンビニ（経営者）		販売量の動き	・天候が悪かったため、売上は前年の101%で推移している。また、この夏にカード会員獲得キャンペーンを展開した結果、会員数が以前の3倍になった。売上に占めるカード会員比率は6%近くに達し、売上に寄与している。	
家電量販店（経営者）	販売量の動き	・前月に引き続き、薄型テレビが好調に推移している。ようやく少し寒くなり、暖房商品は電気暖房を中心に動きが良くなってきたが、本格的な寒さが来ないため主力商品のファンヒーターはまだ動きが鈍い。20万円を超えるドラム式洗濯機や5万円近い炊飯ジャーの単価が大幅にアップし、売上に貢献している。良い商品が開発されると、客の購買意欲が高まる。		
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・来客数が伸び悩んでいる。新ジャンルの高級小型車の発売を12月に控え、新型待ちの見込客が増えており、販売台数ではやや不振の状況である。		
乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・3か月前と比較し、新車受注台数は依然として横ばいである。		
自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・新聞等の情報と、客から受ける実感との間にギャップがある。必要なものから優先的に購入するという客が多く、ついでに他の商品を買うことはせず、一品ごとに納得して購入している。		

	その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（経営 者）	単価の動き	・またガソリン戦争が始まり、利幅が減少している。
	その他専門店 〔酒〕（経営 者）	販売量の動き	・景気が良くなったといわれるが、実際は景気の底冷えが長く続いており、これからの歳暮シーズンも不安がいっぱいである。ただ、大吟醸酒などの高級な酒は1年を通じて安定した売れ方をしている。
	高級レストラン （スタッフ）	販売量の動き	・11月初旬、駅前に大型ファッションビルがオープンしたことにより、特に週末は旧市内地（繁華街）の店舗では来客数が減少したが、郊外の大型店舗では例年を大きく上回る集客となった。新ファッションビル目当ての隣接県からの集客が影響していると考えられる。
	スナック（経営 者）	来客数の動き	・個人客の来店間隔が長くなり、話題も旅行や温泉に飛ぶケースが多い。団体客の予約が入ったため、売上は前年の9割程度を維持できた。
	都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・宴会は好調、レストランは低調であるが、全体としては順調に推移している。
	旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・個人旅行や出張が増加傾向にある。
	旅行代理店（従 業員）	お客様の様子	・個人需要では再び「安・近・短」の傾向が出始め、総体の販売高は頭打ちになっている。法人ではバブル崩壊後、手控えられていた「職場旅行」が復活してきた影響からか、製造業を中心に需要が拡大傾向にある。
	通信会社（役 員）	販売量の動き	・デジタルテレビの価格が下がり、販売台数が増えているが、ケーブルテレビの最大需要期である年末に向けたキャンペーンに対し、例年のような勢いがなく、予想より低調に推移している。
	その他レジャー 施設（職員）	単価の動き	・客単価は前月と同じで、来場者数や売上も前年と変わっていない。
	住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き	・来客数は前年に比べ20%減少している。イベント企画を実施しないと、人が集まらない。
	住宅販売会社 （総務担当）	お客様の様子	・住宅取得控除制度の問題や金利上昇感が客に住宅取得の決断を迫っている。
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・駅前的大型商業施設開店の影響で、平日の人通りが減少している。
	商店街（代表 者）	来客数の動き	・土・日曜日、祝日の来客数が、より少なくなってきた。
	スーパー（店 長）	来客数の動き	・客単価に上昇の兆しはあるが、新規出店が止まらないため、来客数の維持が難しい。
	スーパー（総務 担当）	単価の動き	・秋口に高騰していた野菜が急落し、販売単価も落ち込んだ。今月中旬まで気温が高く、鍋素材である野菜の売れない日が続いた。
	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・10月に引き続き、気温が暖かく、また初旬には隣県で大型ファッションビルがオープンした影響もあり、来客数が減少している。
	家電量販店（店 員）	販売量の動き	・パソコンの落ち込みが著しく、薄型テレビの増加ではカバーしきれない。パソコンの新しい基本ソフト（OS）が来年早々に発売されるため、その買い控えによるものと思われる。
	乗用車販売店 （経営者）	競争相手の様子	・拡大もしくは横ばい傾向であった拠点展開や人員配置に明らかな後退現象が見える。ブランドからの撤退や拠点閉鎖、体制の統合や人員のリストラ等で縮小傾向となっており、扱うブランドごとに販売予測の見直しを行っている。
	一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・飲酒運転の問題や競合店の出店により、来客数と客単価のダウンが続いており、アルコール類は昨年の7割にまで激減している。アパレル関係の大型ショッピングセンターの出店により、客が奪われ、外食にまで消費が回ってこない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・駅前で居酒屋が増えたが、以前のようなにぎわいが見られず、乗客があふれるという状況ではない。
悪く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・商店街で割引セールをしても、初日はまあまあの活気であるが、2日目以降は人出も少なく継続しない。単なる安売りに飽きられていることもあるが、客の様子からは余計な支出を控える傾向が強くなっている。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が堅調に推移しており、輸出も順調である。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・今月は工作機械展が開催されたが、来場者の様子を見ると直近の好調な仕事量の処理をいかに解決するか、この1点に集中している真剣な姿が印象的であった。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・5か月ぶりに前年を上回る受注量が確保できた。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・当社における高品質、高額商材がここ数か月間は同様の数量で推移しており、変化がない。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ファッションは来春に向けて徐々に変わりつつあり、新素材商品に動きが見られる。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・産地メーカー間では二極化がやはり進んでいるが、全体的には依然として量、価格共に厳しく、踊り場の状態が続いている。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・同業者では受注が例年の5分の1と嘆いているところもあれば、年末に近づき、土曜、祝日も出勤して対応しているところもあり、様々である。しかし、忙しい業者でも競争激化から採算は厳しい。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・軽油は若干値下がりしたが、数年前に比べるとまだ高い。燃料費が現状より上がらなければ何とか前年並みの水準を維持できる。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・個人消費に伸びが見られず、建設工事でも公共工事の採算面が厳しい。
会計事務所（経営者）		取引先の様子	・医薬品受託製造で大型設備投資が続いている。納入価格等が厳しいため、投資の回収にはやや時間が掛かりそうであるが、ノウハウの蓄積に努めている。	
やや悪く なっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は減少の見込みである。	
	建設業（総務担当）	それ以外	・受注価格競争が一段と厳しさを増すなかで、建築工事の協力業者が多忙となり、その影響も加わってコストが上昇し、工事採算は悪化傾向にある。	
悪く なっている	-	-	-	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は前年に比べ1割増加した。特に名古屋、大阪方面からの出稿が目立った。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・全体の新規求人数は前年同月比でわずかながら減少したが、これはパート求人の減少によるもので、一般求人では同4.9%増加した。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・2007年問題と景気回復により新規学卒者の採用内定率が大きくアップしているものの、物づくりの部門や中小企業においては未充足の状況が続いている。一方、一般求人は好調が続いているが、相変わらず非正規型求人が半数近くを占めている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年末の時期に限って求人需要が多く、同業他社への要請も目立つ。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・派遣、紹介とも求人はあるが、企業側の求める技術に適應できる人材が少ない。
	やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-	